

## フランスで大規模ガス漏れか？ - 西日本防災システム

2013 01 23

フランス北部ルーアンにある工場で1月21日に腐った卵のような強い臭気を放つガスが大量に漏れ拡散したようです。悪臭は22日午前までにパリを含む同国北部一帯を覆ったほか、海を越えて英イングランドにも到達したようです。

ガスは「メルカプタン」と呼ばれる種類で、都市ガスに添加してガス漏れに気づきやすくするために付臭する用途で使われます。当局は人体に無害だとしていますが、パリの緊急電話回線には一晩で1万人以上からの問い合わせがあり、悪臭による頭痛や喉の痛み、吐き気などを訴えたようです。

ガス漏れが発生したのは、ウォーレン・バフェット氏の所有グループ傘下の「ルーブリゾール」が操業する工場です。この工場では、工業用潤滑剤や塗料のための添加物を生産しているそうです。21日早朝に漏れ始めたガスの悪臭は、短時間の間に数百万人が住むフランス北部一帯に広がったようです。

ガスは風に乗って人口が密集するセーヌ川沿いを広がってパリに到達しました。その後、北方へと拡散し、イギリス海峡を越えて英イングランドに入ると、ロンドン南部にまで到達しました。イングランド南東地域の消防当局によると、ケント南部の住民はドアと窓を閉め切るよう言われたといいます。

パリに住む女性は、泣き叫ぶ赤ちゃんの声で目を覚まし、悪臭に気付いたと話しています。「午前4時くらいに目を覚まして、家中に充満するガスの臭いに気が付きました。玄関の外に出ると、臭いはもっと強くなったので、これが外から来ていることに気付きました」とのこと。

パリの悪臭は21日午後にはほぼ消えていたそうです。いくら付臭用ガスで無害だといわれても 臭いは都市ガスそのものですね！ 怖かったですよね。特に小さなお子さんがいるご家庭では大変でしたでしょうね！ 大事に至らなくて良かったです。



西日本防災システム

NISHINIHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ

